

令和2年度 福井南特別支援学校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1-1 教育課程 学習指導 (小学部)	児童の実態を把握し、付 けたい力を明確化した授 業づくりに取り組む。	教員間で付けたい力や支援方法について十分な話し合いを持ち、 児童が主体的に学ぶ教材や場の設定、かかわり等の学習環境 づくりに取り組んだ成果が出ていると思われる。保護者とも児童 の実態や付けたい力などについて共通理解を深めた。共有方法 や内容の検討が今後の課題である。	今後も児童の実態を的確に把握し、付けたい力を明確化した授業 づくりをしていきたい。また、学部全体で共通理解を図りながら、 教材や指導内容、かかわり方を工夫し、児童が主体的に学ぶ力 を伸ばしていきたい。家庭や事業所での様子も聞き取り、付けたい 力について多面的に話し合っていけるとよい。
	合同学習(音楽・体育・ 遊び・生単)について目 標を確認し、意見交換を 行って授業改善に活か す。	クラスの教員や授業担当者で合同学習について目標を確認し、 意見交換を行ったり、いろいろな授業のやり方や教材を見たりし たことで、授業を改善できた。保護者とは、保護者懇談会や 日々のやりとりを通して個別の教育支援計画や指導計画につい て、話し合いを深め、児童の目標に沿った成長への共感を持って もらえるよう努めた。これらの成果が出ていると思われる。	今後も日々の授業計画と振り返り、相互参観、授業研究会などを 通して、授業をより改善していける視点や支援方法を獲得してい きたい。保護者に対しても、連絡帳や話し合い、授業公開や懇談会 などの中で児童の成長をより細やかに伝えると共に、児童の目標 が適切に段階を踏んだものになっているか、家庭や事業所での実 態に適したものになっているかなどの精査もしていきたい。
1-2 教育課程 学習指導 (中学部)	生徒の思いや実態を把 握し、付けたい力を明確 化した授業づくりに取 組む。	教員間で、生徒の思いを聞き取りながら目標を考え、授業の最 後に目標が達成されたかの振り返りを行った。生徒一人一人の 目標を意識しながら授業を行った成果だと思われる。保護者に 対しては、懇談会等を通して、個別の教育支援計画や指導計画の 目標や支援方法について丁寧に説明した。また、保護者の思 いを聞き取り、個別の教育支援計画に取り入れることができた。	今後も、生徒一人一人の丁寧な実態把握を行い、学習指導要領 に記された内容・目標や、生徒の思いを取り入れながら個別の指 導計画を作成し、それに基づく授業づくりを行っていききたい。また、 保護者懇談会などで、生徒に付けたい力や学校や家庭、地域に おける様子等に関して十分に話し合い、家庭や地域でできる取組 も検討しながら、目標設定や支援方法について共通理解を図って いききたい。
	各教科等を合わせた指 導(生単、作業)の授業 内容や目標について、 課程会等で話し合い、年 間計画の見直しを行う。	新型コロナ感染症対策を鑑み、授業担当者を中心に年間指導 計画の見直しを行った。特に作業学習(レザークラフト)につい ては、学部研究会等で生徒一人一人の目標や支援方法等につ いて学部の全教員で検討を行うことができた。保護者に対しても、 連絡帳等を通して、写真なども多く活用しながら、授業における 生徒の様子を丁寧に伝えるように努めた。	今後も、授業担当者や課程会等で、日々の授業実践について話 し合う機会を積極的に設けていきたい。特に各教科等を合わせた 指導について、学習指導要領に記された各教科等の内容・目標 との関連性を明確にした授業づくりを行っていききたい。保護者に対 しては、生徒の日々の学習や成長の様子について、より具体的 に伝えるように、連絡帳や懇談会の内容の改善を検討していき たい。
1-3 教育課程 学習指導 (高等部)	生徒一人一人の目標や 支援方法を検討し、保護 者との共通理解を図る。	教員間で生徒の目標や支援方法の共通理解を図り、単元シ ートを作成して授業を作り、振り返りを行った。保護者懇談会で十分 に話し合い、本人の実態や特性に合わせた個別の教育支援 計画を作成した。また、進路相談会等を設定し、卒業後の姿 を共通理解しながら支援を行った。生徒は、学習面、生活面、作 業学習、現場実習で将来の自立に向けた具体的な目標を立て 、目標の振り返りを行いながら、自己理解を深めることが できた。	今後も教員間で連携を取り合いながら、一人一人に合った個別の 指導計画を作成し支援を行っていく。保護者とは、懇談会等で目 標や支援方法について話し合い共通理解を行いたい。将来の生 活を見据えて、本人、保護者、学校、関係機関が連携を取りな がら情報を共有し、支援の充実を図りたい。生徒には、目標を教室 に掲示したり、授業の前に確認する時間を設定したりするなど、常 に目標を意識できるような工夫を行いたい。
	学習の成果や個人の考 えをお互いに交換するな ど、共に学び合う体験を 重視した授業づくりに取 り組む。	年間指導計画の見直しを行い、生徒同士の話し合い活動を取り 入れた授業に取り組んだ。保護者には、懇談会や連絡帳等を通 して、成長した点を確認することができた。生徒の判断基準は未 達成となった。生徒同士で意見を交換する場面設定が不十分で あったり、生徒自身が自分の思いや考えを相手に伝えることに 苦手意識を持っていたりして、授業の中で主体的に取り組めたと 実感できなかったためと思われる。	主体的、対話的で深い学びという視点に立った授業をすべての教 科の中で取り入れられるよう、授業改善に努めたい。保護者に対 しては、懇談会だけではなく、学部だより等でも発信し、日々連携 を取り合っていけるように努めたい。生徒に対しては、今後も、話 合い活動を積極的に取り入れ、自分の思いや考えを表現する場 面を大切にしたい。また、授業中の発表が難しい生徒にとっても 主体的、対話的で深い学びになるよう、授業改善に努めたい。
1-4 生活の指導 (寄宿舎)	寄宿舎生一人一人がよ りよい基本的生活習慣 を身に付けられるよう、 実態や段階を踏まえ支 援方法や生活環境を工 夫する。	一人一人に応じた目標や課題について、達成状況や新たな課 題に合わせて支援方法を検討し、その都度保護者に報告を行 った成果だと思われる。しかし、コロナ禍の影響で保護者と話し合 う時間が制限され、保護者が望んでいる支援ができなかった ことが課題である。生活指導内容表については、いろいろな支 援方法の中から指導員同士で精査し、実際に用いた目標や取組 を追加したこと、使用の仕方について各階から意見を出し合う ことで、活用する機会が増えたためと思われる。	今後も、舎生一人一人に応じて、全体引継ぎや支援教材フォルダ などを利用し、寄宿舎全体で共通理解し支援方法を統一でき るようにしていきたい。保護者に対しては、連絡帳だけでなく、懇談 や電話連絡などで直接話す機会を増やしたり、写真で視覚的に伝 えるなど、支援内容の伝え方を工夫していきたい。生活指導内 容表については、長期休業中や学期ごとに見直しを図る時間を設 けたり、日々の支援の振り返りで活用したりすることで、活用の幅 が広がると考えられる。
2 危機管理 (学校全体)	情報管理・不審者対応も 含めた危機管理体制の充 実を図るとともに、訓練 等を通じて教職員一人一 人が具体的な役割につ いて理解を深める。	各種避難訓練を実施し、教職員は各自の役割を確認できた。感 染防止対策については初めてで実施要項の企画段階では想定 しづらいこともあった。訓練によって確認できたことを今後に生か したい。事務員や調理員、校務員は訓練に参加できなかった。	業務によっては、日常業務中には避難訓練に参加できない職員 もいるが、交代して参加してもらおう。実施要項等を踏まえて、担 当者から個別に役割の説明をし、全職員が自分の役割を意識でき るようにする。
	保護者に学校の取組を 周知するとともに、休日 や登校時の災害に備え 災害時の対応について 理解啓発を図る。	保護者への情報提供については、防災だよりや学校ホーム ページを通して、各種避難訓練や事前学習について知らせた。 学習や訓練の実際の様子については主に写真で知らせ、目的 や意義についても紙面に載せるようにした。災害時対応につ いては、メール受信の試行を2回実施した。1回目、受信してい ない家庭については個別に知らせたところ、受信が100%とな った。2回目は、複数の選択肢のある回答方法を用い、模擬解 答を得ることができた。	防災や災害時対応については、各自の住居地域により事情が異 なるので、情報交換しにくい面もあるが、家庭での取組などにつ いては情報交換できるとよい。災害時対応については今年度実 施した2回目の受信・回答訓練を今後も重ねて経験し、家庭の受 信環境を把握するのに役立てたい。
3 人権教育	教職員が人権意識を高 め、いじめ防止・早期発 見に努めるとともに、積 極的に保護者に対して 学校の取組を発信する ことで連携を図る。	人権についての伝達講習をオンラインで行った。また、記述回答 欄に「人権について書かれていたか覚えがない」というものが あった。各学部だよりを通しての、家庭での児童生徒の気にな る様子や保護者の相談について呼び掛けが、不十分であったと 考えられる。	学校としての取組の紹介を、年度初めに学部だよりや指導部だ よりなどで家庭に呼び掛けたい。人権や心のケアなどの話題につ いて、学校から発信を行っていききたい。

令和2年度 福井南特別支援学校 学校関係者評価書

<p>(問)(1)学校評価の目標に対する成果(達成度)や結果の分析は適切か。</p> <p>(2)その他(学校運営全般に関するご意見など)</p>
<p>(意見を聞いた方)</p> <p>学校関係者評価委員:保護者代表6名、同窓会保護者代表1名</p>
<p>(意見欄)</p> <p>(1)目標に対する成果および結果の分析について</p> <p>○教育課程・学習指導</p> <p>・一人一人のペースに合わせて目標達成に向け指導してくださっていると思う。クラス構成も目標達成しやすい環境づくりになっていると思う。保護者懇談でどの位目標について達成したか詳しく用紙と言葉で説明してくれるのでよく分かる。家ではできていなくても学校ではできている事が多いと思う。</p> <p>○危機管理</p> <p>・9/3 の避難訓練の翌日に地震があったが、児童たちは落ち着いて行動できたようで安心した。訓練は大切なのだと改めて思った。</p> <p>○人権教育</p> <p>・自分の状況や気持ちを言葉で伝えることが困難な児童・生徒たちなので、ちょっとしたトラブルも、先生の状況説明や感情の代弁があつて誤解が解けたり解決したりすることは多いと思う。本当に大変な気を張る問題だと思うが、ぜひこれからも対応をお願いしたい。</p> <p>○全体(総括)</p> <p>・判断基準が概ね「達成」となっていてよい。</p> <p>・新型コロナ感染予防のために制限があったが、児童生徒は充実した学校生活を送れたようで、多くの保護者が目標を達成できたと評価してよい。</p> <p>・一部「未達成」となっている点については、今後重点的に取り組んでもらいたい。</p>
<p>(2)その他(学校運営全般について)</p> <p>・いじめ防止について学校の取組を指導部だよりで発信する、地震後の対応など、保護者からの意見に対応しようとしていてとても良い。コロナ対応など、大変だと思うがこれからも対応をお願いしたい。</p> <p>・体験をいろいろ積み重ねて初体験を少なくするよう授業の中に取り入れてほしい。</p> <p>・朝と帰りの挨拶は、児童・生徒にとって成長すると思う。</p> <p>・今年度は特にコロナ禍で様々な制限がある中、精いっぱい子どもたちの学校生活を支えてもらい、先生たちの細やかな心配りに感謝している。楽しく通学できているのがありがたい。</p>
<p>(学校関係者評価を踏まえた今後について)</p> <p>・人権教育については、指導部だよりや学部だよりなどで、よりしっかりと取組を伝え、保護者の方と連携して取り組んでいく。</p> <p>・次年度も感染症に対して緊張感をもって対応していく必要があるが、児童生徒が楽しく学校に通ってこれるように工夫しながら、教育活動を行っていききたい。</p>